

①（仲間分けブック）のレシピ

＜ねらい、目的＞

上位概念や属性などの理解を高めます。2～4つのカテゴリーに分けるようにしています。一人で学習しやすいようにブックにしました。カテゴリーは、簡単な「動物」から、学校の教科に関するもの等18種類用意しています

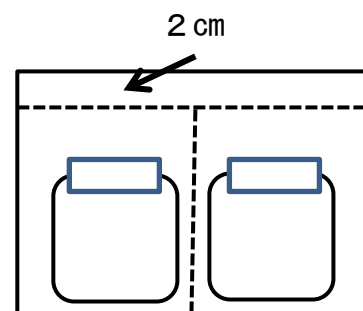


＜材料＞

仲間分け台紙①②：各1枚 仲間分け素材：3枚 2穴バイナダー-A4版：1冊
画用紙A4：1枚 ラミネートフィルム：6枚 粘着式マジックテープ3cm幅：23cm

＜作り方＞※今回は時間の都合上2～4つのカテゴリー分のみ作ります。

- ① 仲間分け台紙、仲間分け素材、画用紙6枚をそれぞれラミネートします。
- ② 台紙①（黄緑・ピンク）タイトルを上横向き、画用紙も横向きにし、バイナダーに合わせて、パンチで穴を開けます。
- ③ 台紙②（オレンジ・青）の上部を2cmカットします。
- ④ カットした台紙②を台紙①の左右にセロテープで表裏止めます。
- ⑤ 仲間分け素材をカットし、マジックテープをつけて、カードを作ります。



＜使い方＞

- ① カテゴリーのタイトルを貼っておいたり、モデルに1枚カードを貼っておいたりして、仲間分けをしていきます。対象のお子さんの実態にあわせて、使い方をいろいろ工夫してください。
- ② 「ぶどうは果物」「エプロンは着るもの」等言語化するとよいと思います。

＜発展＞※素材を活用して、以下のようにゲーム化して、遊ぶこともできます。

お話しころ

- ・ カテゴリーのタイトルカードをサイコロに貼ります。、さいころを振って出てきたカテゴリーのものを発表します。想起の弱い子どもには、台紙をそのままヒントボードとして活用してもよいです。



仲間分けゲーム（2～4人ぐらい）

- ① 台紙のカードをめくる順番を決めます。
- ② カードを1枚めくり、めくったカードを仲間エリアに貼ります。例えばリンゴカードをめくったら、くだものエリアに貼る。
- ③ 貼ったら、「りんごは、くだものです」と言葉で友達に聞こえるように発表する。正解すると、1ポイント。ポイントの多い人の勝ち。

※ラッキーカード（自分の思いついた言葉と何の仲間か言えると2ポイント）を作ってもよいです。子どもたちに実態に応じて、ルールを変えて楽しんでください。

